

AOAセミナー2016

AOAセミナー2016



テーマ

『明日の利用者を今日つかむ』

2016年10月25日(火)・26日(水)

於 JA共済ビル カンファレンスホール



主催 国際協同組合保険連合アジア・オセアニア協会（AOA）
ホスト団体 日本コープ共済生活協同組合連合会（コープ共済連）
全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）
全国労働者共済生活協同組合連合会（全労済）

国際協同組合保険連合アジア・オセアニア協会（AOA）

会長からのごあいさつ



AOA 会長
勝瑞 保

皆様には、日頃より I C M I F アジア・オセアニア協会の活動にご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

会員の皆様には、それぞれの地域で協同組合/相互扶助の共済・保険の普及と事業の発展にご尽力され、またコミュニティに貢献する様々な活動をされていることに、改めて深く敬意を表するものであります。

I C M I F アジア・オセアニア協会では、地域の協同組合/相互扶助の共済・保険の発展に向けて2年に1度、セミナーを開催しております。セミナーでは、専門家による講演や加盟団体の優良事例の発表等を交えながら、社会・経済の最新の情報や加盟団体に共通する課題への対応等について考えを深めていただいております。

今回のセミナーのテーマは、「明日の利用者を今日つかむ」です。

昨年、ミネアポリスの I C M I F 総会後に実施したアンケートによると、最も多くの参加者の印象に残ったセッション、考えを刺激されたセッションが、昨今注目を浴びている共済・保険分野でのデジタル技術の活用と、デジタル技術に馴染みが深い若者層（ジェネレーション Y）に焦点を当てたセッションでした。

当セミナーでは、これら I C M I F ミネアポリス総会で提起された今後の課題について、アジア・オセアニア地域の課題としてとりあげ、ミネアポリス総会に参加された皆様だけでなく、より多くの皆様をはじめ、多くの皆様と共有することで、各会員の今後の事業運営の参考になることを願っております。

当セミナーの開催にあたり、プレゼンテーションを引き受けてくださった皆様方、ホストを引き受けてくださった団体の皆様方に、この場をお借りして感謝申し上げます。

2016年10月吉日

ホスト団体からの歓迎のごあいさつ

この度、コープ共済連、JA共済連、全労済の3団体がホストとなって、『AOAセミナー』を東京で開催することとなりました。ホスト団体より、アジア・オセアニア各地からご参集のAOA会員団体の皆さまに歓迎のご挨拶を申し上げます。

四季の移ろいがはっきりと感じられる日本では、秋は最も美しい季節といわれています。木々は鮮やかに色づき、空が高まり風も快い秋は、芸術やスポーツのイベントが多く開催されます。また、「収穫の秋」や「実りの秋」と呼ばれ、秋ならではの味覚を堪能できるグルメシーズンでもあります。このような素晴らしい季節に皆さまをお迎えできることを非常に光栄に存じます。ぜひ、この美しく美味しい季節を、東京と視察先の群馬でお楽しみいただきたいと思います。また、情報交換や率直なディスカッションを通して、たくさんの「実り」が生まれれば幸いです。

さて、昨年10月、ミネアポリスにおいて『ICMIF総会』が開催され、世界35カ国から約280名、アジア・オセアニア地域から50名が参加しました。この総会を通じて、進展する「デジタル化」への対応や、新しい消費行動をとる「若年層」へのアプローチが必要不可欠であることが認識されました。

その意味で、本セミナーは、先の『ICMIF総会』のアジア・オセアニア版を目指したものであるといえます。

同じ目的を共有する仲間同士が、協同組合保険・共済団体が直面している課題を認識し、共に学びあい、可能性を広げあうネットワークを築く機会是非常に貴重なものです。

この『AOAセミナー』が、ご出席の皆さまにとって有意義なものとなり、それぞれの国で「よりよい社会」を築いていくための大きなステップとなることを祈念いたします。

2016年10月吉日



コープ共済連 代表理事理事長
佐藤 利昭



JA共済連 代表理事理事長
勝瑞 保



全労済 代表理事理事長
中世古 廣司



CO-OP 共済キャラクター
コーすけ



JA 共済オリジナルキャラクター
ひとのわぐま



全労済公式キャラクター
ピットくん

セミナー・プログラム

1. 日時 2016年10月25日(火) ～ 10月26日(水)
2. テーマ 「明日の利用者を今日つかむ」
3. プログラム
 - ◆ 10月25日(火) 9:15 ～ 17:30 (終了後にAOA主催夕食会を開催)
 - ◇ セミナー会場: JA共済ビルカンファレンスホール
東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル1階
 - ◇ AOA夕食会場: JA共済ビル3階「みどり食堂」

時間	講演者(敬称略)	テーマ
受付 08.45 - 09.15		
開会の挨拶 09.15 - 09.35	AOA 会長(全共連理事長) 勝瑞 保 ホスト3団体代表挨拶 全労済理事長 中世古 廣司	ホスト3団体: コープ共済連、JA共済連、全労済
基調講演 09.35 - 10.15	ICMIF シニア・ヴァイス・プレジデント (会員サービス担当) リズ・グリーン	<p>■ 「協同組合／相互扶助の保険セクターに対するグローバルな評判等にかかる最新の報告」</p> <p>協同組合／相互扶助の保険組織(共済組織)には世界で9億人を超す加入者がいる。これに加えて新興国にはコミュニティで運営する非公式な保険制度の加入者が数百万人いるといわれており、この種の保険・共済が持つ真の影響力・社会への貢献度等にかかるグローバルな評判につき、ICMIFによる最新の調査報告に基づき考察・探求する。</p> <p>また、個別団体レベルではグローバルな社会・経済的な議論の場で直接発言する機会が少ないため、ICMIFでは共済セクターを代表して発言し、認知度向上や影響力拡大に努めることが重要な任務と考え様々な活動しており、これらについても解説をいただく。</p>
10.15 - 10.30	休憩	
講演1 10.30 - 11.30	アクセンチュア株式会社 金融サービス本部 マネジング ディレクター 大喜多 雄志	<p>■ 「従来の「保険」の先へ - デジタル・イノベーションが実現する保険ビジネス進化論」</p> <p>ソーシャルメディア等が、ここ数年間で人々の生活スタイルにさまざまな変化をもたらしたことは言うまでもない。</p> <p>このデジタル化の進展による人々の生活スタイルの進化を分析し、保険業界への異業種からの参入の先端事例とあわせて、既存の保険業界の生き残りをかけた先端事例について説明いただく。</p>

時間	講演者 (敬称略)	テーマ
講演2 (ICMIF 会員優良事例) 11.30 - 12.40	スライベント・フィナンシャル (米国) 副社長 ビル・マッキニー	<p>■「若者を惹きつける取組みとデジタル・イノベーションの活用」</p> <p>顧客行動の変化にともない、保険業界にとってY世代（ポスト団塊ジュニア世代、特に1980年以降に生まれた世代でミレニアル世代ともいう）の重要性がますます高まっている。</p> <p>デジタル技術が事業の方法論さえ変えている今、事例報告として、米国の協同組合/相互扶助の保険組織であるスライベント社のサービスと商品、コミュニケーションのあり方についてお話しいただく。</p>
12.40 - 13.40	昼食	
AOA より報告 13.40 - 13.50	AOA 事務局	AOA が実施した、デジタルと若者に関するアンケート調査の結果について事務局より報告
AOA 会員から報告 13.50 - 14.10	大学生協共済連 役員室 室長 大谷 光一 同 副学生委員長 升本 有紀	<p>■「大学生協共済連の特徴と課題、学生の生活実態」</p> <p>大学生協共済連は日本の大学に在籍する大学生向けの共済を手がけており、共済加入者の拡大には学生同士のネットワークが大きな役割を果たしている。このような特徴を持つ同共済連の持つ課題につきお話しいただくとともに、学生（若者世代）の生活実態についてもご説明いただく。</p>
講演3 (AOA 会員優良事例) 14.10 - 14.55	NTUC インカム (シンガポール) 最高経営責任者 ケン・ウン	<p>■「組織改革とデジタル・イノベーションの活用」</p> <p>NTUC インカム社はシンガポール市場で非常に有力な労働組合系の協同組合保険会社であるが、同国経済の発展とともに外資系保険会社の標的となった。これを機に、これまでの信頼性といった価値による評価だけでなく、時代に即した力強さや躍動感をもつ必要があると考え、従来の組合の原則と保険会社の本質とのバランスをとり、組織の質の向上を目的とした改革「文化革命」(2007年8月から1,500日間) および、他社との差別化を目指した改革「オレンジ革命」(2011年9月から1,500日間) を立て続けに実施してきた実践的組織である。</p> <p>現在は将来の高齢化対策や、明日の顧客を今日つかむためにデジタルを駆使した取組みを考え実践してきており、それらの取組みにつきお話しいただく。</p>
14.55 - 15.15	休憩	
AOA 事例発表 15.15 - 16.15	参加会員から4団体	<p>各団体におけるデジタル化あるいは若年層への取組みを中心に事例報告をいただく。</p> <p>① Shepherd (インド) N. Peter Palaniswami, Founder & Secretary General</p> <p>② 全労済 普及推進部 WEB 推進課 課長 宮本 滋史 「ベネフィット訴求とWEB接客について」</p> <p>③ コープ共済連 渉外・広報部 広報グループ 玉永 香織 「若年層へのPRについて」</p>

時間	講演者（敬称略）	テーマ
		④ 全共連 普及部 普及広報グループ 課長 川村 晃司 「明日の利用者を今日考える」
16.15 - 16.30	休憩	
講演4 (協同組合優良事例) 16.30 - 17.15	JAおちいまばり 直販開発部 部長 西坂 文秀	■「地域との共生を考えた販売戦略 - 農協・農強・農教」 高齢化等による離農、生産規模縮小、後継者不足、少子化による食の変化等の課題に対して、「あったか〜い、心のおつきあい」を経営理念として、地域を元気にし、基盤を磐石なものへとするための先端的な取組みを行っているJAである。 今回は、同JAの農業振興および地域社会への貢献活動の一例として、買い物に行くのが大変な高齢者へのネットスーパーや元気確認システム、また、次世代等を取り込むための取組み等について発表をいただく。
17.15 - 17.30	まとめ	
AOA 主催夕食会 セミナー終了後	会場：「みどり食堂」 JA 共済ビル3階	※立食・buffet

◆ 10月26日（火）8：00～17：30（18：00からホスト主催夕食会を開催）

- ◇ 視察場所： 群馬県富岡市・藤岡市に所在のJA・生協等をバスにより視察
- ◇ ホスト主催夕食会場： TKP ガーデンシティ永田町
東京都千代田区平河町2-13-12

時間	場所	詳細
8.00 - 17.30	甘楽富岡農業協同組合 コープぐんま 富岡製糸場	■事業改革への取組み 過去には特定作物である蚕、こんにやくなどで成功を収めた群馬県山間部のJA。時代の流れと共に、いつしか離農等による深刻な経営課題を抱えることとなったが、発想を転換し、組合員による組合員（生産者）と消費者のための、真（新）の組合作りを実践し、成功し続ける取組みを行うJA甘楽富岡を視察する。 【黒澤賢治理事 による説明を予定】 ■生協店舗の視察 コープ藤岡店
ホスト団体主催夕食会 18.00 - 20.00		会場： TKP ガーデンシティ永田町 東京都千代田区平河町2-13-12

(※1) 現地視察およびホスト団体主催夕食会はスマート・カジュアル（クールビズも可）をお願いします。

(※2) 詳細な日程表は事前に申し込みされている方に、既にご連絡しております。

講演者プロフィール
【基調講演】



リズ・グリーン

ICMIF (英国)

シニア・ヴァイス・プレジデント (会員サービス担当)

リズ・グリーン氏は、2012年にシニア・ヴァイス・プレジデントとしてICMIFに入りました。ICMIFに勤める以前は、英国の生命保険業界でシニア・コミュニケーション・アドバイザーとして17年間勤務し、またビジネスと消費者調査に関する学位を取得しています。

同氏は、レピュテーション (評判)、ジェネレーションY、指導的立場にある女性といったトピックに焦点を当て注目を集めたICMIFの数々のプロジェクトを率いるとともに、ICMIF初となるグローバル・マニフェストを考案しました。

リズ・グリーン氏は、世界各地の会議で基調講演者を務めることが多く、昨年は中国保険監督管理委員会 (CIRC) が上海で開催した規制関連の会議において開会の辞を述べています。

同氏はまた、神経言語プログラミングのコーチ資格を保有しており、英国リバプール近郊に住んでいます。

講演者プロフィール
【講演 1】



大喜多 雄志

アクセンチュア株式会社
金融サービス本部・経営コンサルティング部門
マネジング・ディレクター

大喜多 雄志氏は、世界でも屈指のコンサルティング会社で、フォーチュン・グローバル 500 にも選ばれているアクセンチュア社の日本法人である、アクセンチュア株式会社の金融サービス本部・経営コンサルティング部門のマネジング・ディレクターとして活躍されています。

大喜多氏は、生命・損害保険業界のクライアントを中心に、各種戦略策定、全社改革計画立案・実行、ビジネス・オペレーションモデル策定、業務・組織変革等、数多くのプロジェクトに従事しており、近年は、これらに加え、保険に留まらない新サービス企画、デジタルテクノロジーを活用したビジネスモデル変革をテーマとした活動を展開中です。

講演者プロフィール 【講演 2】



ウィリアム・B・マッキニー
スライベント・フィナンシャル (アメリカ)
副社長 (戦略・長期開発管理・人材開発統括責任者)

ビル・マッキニー氏は、米国最大のフラタernal組合であるスライベント・フィナンシャルの副社長として、戦略、長期開発管理、人材開発の各部門を統括しています。

現在の主な役割は、スライベントが保険市場の動向に合わせて、組織の力を最大限に発揮できるように 3~5 年先を見据えた事業戦略、人材開発を策定し、実行することです。また、フラタernal組合としての特性を活かした組合員との関係を将来にわたって強化していくこともビルの重要な仕事のひとつです。

スライベントは、フォーチュン 500 ※1 にランクインする組織で、1,000 億ドル (約 10 兆円) の資産を有し、幅広い金融商品とサービスを全米 200 万人以上の組合員に提供しています。ビルがスライベントに入社したのは 2003 年で、これまで推進戦略、ファイナンシャル・アソシエイト (専属の営業職員) の採用および育成、マスマーケット戦略、新規事業開発、市場調査・分析、ビジネス・インテリジェンス、人材開発・組織改革等の様々な部門を率いてきました。

現在、ケアリング・ブリッジ ※2 やミン・ポスト ※3 という NPO 団体の理事、さらには、ICMIF のインテリジェンス委員会の委員も務めています。また、過去には全米フラタernal同盟 (AFA) の会長 (2013 年~2014 年の 1 年間)、ミネソタ子供博物館の運営委員長 (8 年間) を務めてきました。

生まれはケンタッキー州東部で、ミネソタ州のカールトン大学を卒業後、ミネソタ大学で MBA を取得しています。スライベントに入社する前は、ミネアポリス市内で宅配事業の運営に携わった後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社しました。マッキンゼーでは、金融サービス部門世界上位 500 社に入る企業を顧客とする戦略コンサルティングチームの責任者として、戦略、組織設計、業務の効率性向上に関するアドバイザリー業務を担当しました。

現在は、妻のエイミーさんと 3 人のお子さん (エリー、フィン、メット) とともにミネアポリスで暮らしています。プライベートでは、アイアンマン・トライアスロンを 2 回、フル・ハーフマラソンを何度も完走するほど熱心なアスリートでもあります。

※1 フォーチュン 500

フォーチュン誌が、全米上位 500 企業を総収入 (税引後) にもとづきランキングにしたもの。2015 年、スライベントは 333 位にランクイン。

※2 ケアリング・ブリッジ (CaringBridge)

病気やけが等で治療を必要とする患者やその家族、友人、知人等が、患者一人ひとりのウェブサイトを立ち上げ、症状や治療の進行に応じた情報交換をおこなうための無料ウェブ・プラットフォームを運営する団体。1997 年設立、本部ミネソタ州、個人の寄付を収入源とする。

※3 ミン・ポスト (MinnPost)

オンラインでミネソタ州のニュースを提供する非営利団体。記事のほか、音声や動画も活用してプロのジャーナリストがニュースを伝え、市民の様々な意思決定に資することを目指す団体。2007 年設立、財団や個人の寄付を収入源とする。

講演者プロフィール
【講演 3】



ケン・ウン

NTUC インカム (シンガポール)
最高経営責任者

ケン・ウン氏は、2013年10月1日にNTUC インカムの最高経営責任者に任命されました。

同氏は、2007年に上級副社長、保険計理人、そしてチーフ・リスク・オフィサーとして同社に入社しました。

NTUC インカムに入社する前は、グローバルに活動するいくつかの保険会社で様々な主導的ポジションについており、シンガポールの他には英国、中国、香港に住んでいた経験があります。

ケン・ウン氏は、英国のインペリアル・カレッジ・スクール・オブ・マネジメントで経営学修士号を取得しており、また、英国のロンドン・アクチュアリー会のフェローでもあります。

講演者プロフィール
【講演 4】



西坂 文秀
JAおちいまばり
直販開発部長

1984年、大学卒業後に今治南農業協同組合に入組。営農販売事業、特に共販・共選の仕事に携わり、集荷場の立ち上げ、部会の統合、新規市場開拓、大口取引業者の開拓などを行ってきました。

1996年に総合集荷場の企画・開発・運営、2000年には農産物直売所を提案し企画・開発・運営。

2007年に現在の大型直売所に着手。2016年に旧朝倉村に金融店舗・カフェ・マーケット・食堂をワンフロアで営業の店舗オープン。同年イオンモール今治へ、単独店舗として出店。2014年、直販開発部長に就任し現在に至る。

【表彰・功績】

- | | |
|-------|---|
| 2010年 | 農林水産省「地産地消の仕事人」に選出される |
| 2012年 | 農産物直売所「さいさいきて屋」が全国農業協同組合中央会、NHK等が主催する第41回日本農業賞・特別部門「職の架け橋賞」大賞を受賞

「彩菜コットンプロジェクト」綿からタオルまですべて今治・を企画しグッドデザイン賞受賞

農林水産省「ボランティア・プランナー」に選出される |
| 2013年 | フード・アクション・ニッポン アワード 優秀賞受賞 |

